

災害委員会2007年度活動報告

災害委員会 委員長 林 静雄（東京工業大学）

2005年度～

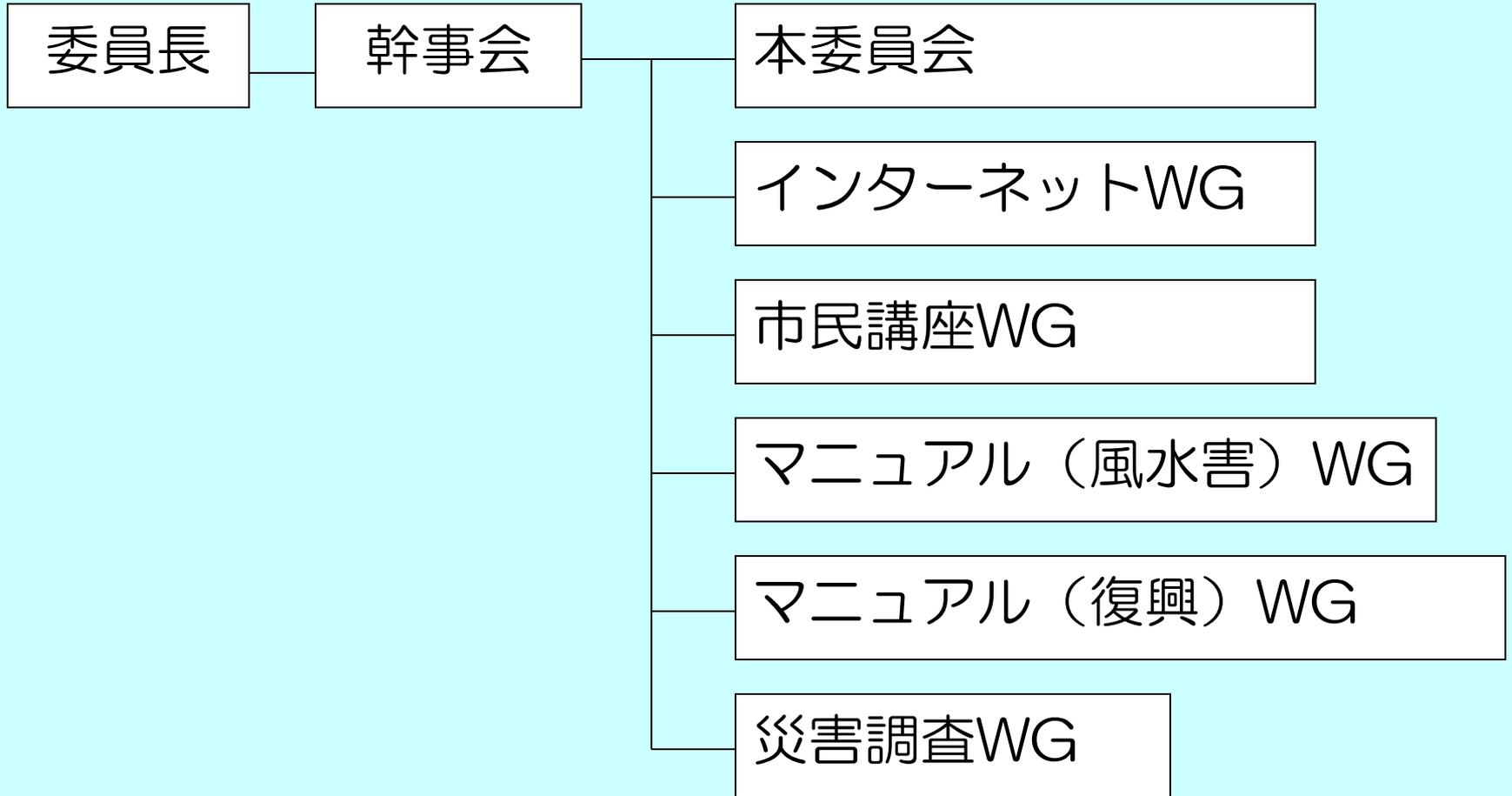
災害委員会の目的（運営規定 第2条）

地震・風・水害などに関し，調査，研究，発表及び建議などを行い，建築に関する学術・技術・芸術の進歩発達に寄与する

災害委員会の事業（運営規定 第3条）

- （1） 災害及び抑制に関する調査，研究
- （2） 国内外の災害時における調査団の派遣，情報収集などの推進と調整
- （3） 災害に関する報告書の編集
- （4） 前項（1）～（3）に関する成果の普及
- （5） 委託研究
- （6） 内外の関連委員会，学協会，官公庁など関連機関との連絡調整
- （7） 理事会からの付託事項
- （8） その他目的達成に必要なこと

組織構成



災害発生ごとに随時

定常予算

年間予算： 718,000円

市民WG：1,000,000円

臨時予算

災害調査WGの報告書作成費

各WG 本委員会開催，大会，

メール審議

本委員会の委員構成

委員長，幹事（4名），WG主査（4名）
支部選出委員

北海道，東北，関東，東海，北陸，近畿，中国，四国，九州

構造委員会選出委員

応用力学，荷重，基礎構造，木質構造，鋼構造，壁構造，RC構造，PC構造，シェル・空間構造，仮設構造，振動，鋼コンクリート合成構造

学術推進委員会選出委員

材料施工，建築歴史・意匠，防火，建築社会システム，環境工学，建築法制，建築教育，都市計画，建築計画，農村計画，海洋建築，地球環境，文教施設，情報システム技術

2007年度設置の災害調査WG

2007年能登半島地震災害調査WG

2007年4月24日：土木学会、地盤工学会、日本地震工学会、
日本建築学会、日本地震学会

2007年5月13日：日本建築学会 北陸支部

2007年新潟県中越沖地震災害調査WG

2007年 8月22日：土木学会、地盤工学会、日本地震工学会、
日本建築学会、日本地震学会

2007年9月8日：日本建築学会 北陸支部

本委員会の活動

1. パネルディスカッション
「福岡県西方沖地震から2年—低頻度地震に遭遇した
地方中核都市の被災体験に学ぶ」，（資料名）同上
2. 2007年能登半島地震災害・新潟県中越沖地震災害調
査速報会，（資料名）同上
3. 緊急報告会「2007年新潟県中越沖地震災害調査報告」
（構造委員会と共催）

インターネットWG

2007年7月16日新潟県中越沖地震に関する情報

2007年4月15日三重県中部の地震に関する情報

2007年3月25日能登半島地震に関する情報

その他 日本建築学会ならびに災害委員会主催の催し物の
の情報提供

迅速にHPを更新するために、Wikiシステムを導入しているが、サーバーの管理等、負担が特定委員に集中する。災害発生時に各種情報を如何に迅速・明確に発信できるかが課題である。

マニュアルWG

風水害WG

調査活動指針の案を作成し，現在案について討議中

復興WG

当該委員が関わった都市計画学会復興調査指針が完成し，検討を行い，災害委員会にて報告した。

地震災害WG

市民講座WG

1. 津波防災まちづくり体験学習inところ，北見市，125名
(資料名) 津波防災まちづくり体験学習inところ (CD-ROM 製作中)
2. 来たるべき南海地震への備え：地域間地震防災フォーラム，宿毛市，100名
3. 第12回「震災対策技術展」関連講演会，横浜市
「持続的発展可能な社会をめざして
—総合的な防災対策のあり方—」

特別事業（年間特別予算100万円）

2005～2007年度の3年間

災害に関する知識の普及と地域の防災力向上を目的

各支部から市民に対する地震防災対策の啓発・普及を促進するような企画に対する支援活動

6支部8市町において当該地のハザードや実情を踏まえた企画が実施され、自治体等と連携することにより少ない経費でも開催が可能となっております

市民企画講座WG・支部企画活動実績

2005年度		
北海道	津波防災まちづくりシンポジウム in おくしり, 2005年10月14日-15日, 北海道奥尻町	70名, 津波防災まちづくりシンポジウム in おくしり (CD-ROM)
近畿	防災市民講座「親子で考えよう, 防災対策」, 2006年3月4日, 和歌山県和歌山市	46名, 資料なし
2006年度		
東北	防災市民講座「若者と一緒に活動する自主防災組織の構築に向けて一仙台市八木山地区」, 2007年3月3日, 宮城県仙台市	90名, 資料なし
北陸	災害における自助・共助・公助～的確な情報伝達・取得のために何をすべきか～, 2006年7月8日, 福井県福井市	100名, 災害における自助・共助・公助～的確な情報伝達・取得のために何をすべきか～活動報告書
東海	巨大地震からわが子を守るタウンウォッチング・静岡編, 2006年11月26日, 静岡県静岡市	50名, 巨大地震からわが子を守るタウンウォッチング・静岡編 開催報告書
東海	みんなでたのしむ防災まちづくりフェスティバル, 11月26日, 愛知県半田市	500名, 「みんなでたのしむ防災まちづくりフェスティバル」報告書
2007年度		
北海道	津波防災まちづくり体験学習inところ, 2007年10月12日-13日, 北海道北見市	125名, 資料 (作成中)
四国	来たるべき南海地震への備え: 地域間地震防災フォーラム, 2007年11月4日, 高知県宿毛市	100名, 資料 (作成中)

家屋の耐震性 専門家に学ぶ



宿毛フォーラムで
愛南町民ら真剣に

南海地震に備え、四国
西南地域の住民に家屋の
耐震性について理解して
もらう「地域間地震防災

フォーラム」が四日、宿
毛市南沖須賀の農協会館
であった。愛媛地震防災
技術研究会（会長・森伸

ワークショップで地震対
策などについて話し合う
参加者

一郎愛媛大准教授）など
主催。

南宇和郡愛南町と宿毛
市が同じ四国西南部に位
置することから合同で開
催。自主防災組織のメン
バーなど宿毛市から八十
人、愛南町から二十人が
参加した。

大学教授ら専門家の講
演に続き、二チーム・十
班に分かれてワークショ
ップを実施。耐震診断の
着眼点や個人・地域でで
きる地震対策などについ
て意見交換した。また両
チームの代表班が自分た
ちにできる地震対策につ
いて発表した。